

令和 8 年度 第 26 回 大学院セミナー

令和 8 年 9 月 29 日

分野名 Area of Research (責任者名)(内線)	呼吸器内科学分野 責任者名(岩永直樹) 内線(7273)
演題 Title	成人気管支拡張症の診療と原発性線毛機能不全症(PCD)―病態理解から診断・治療の新展開まで―
講師等 Presenter	複十字病院 呼吸器内科 臨床研究部 部長 森本 耕三 先生
概要 Abstract	気管支拡張症は、気管支の不可逆的な拡張を特徴とし、慢性の咳・喀痰、反復する気道感染や増悪を呈する疾患である。近年、その病態は単なる気道の形態異常ではなく、粘液線毛クリアランス障害、慢性感染、炎症、気道構造破壊が相互に影響する疾患として理解され、原因疾患や併存症を明らかにした上で個々の患者に応じた診療を行うことが重要となっている。本講義では、気管支拡張症の病態、原因検索、感染管理を含む診療の基本を概説するとともに、その重要な原因疾患の一つである原発性線毛機能不全症(primary ciliary dyskinesia: PCD)を取り上げる。PCDは先天的な線毛機能異常により、幼少期から上下気道感染を反復し、成人期には気管支拡張症へ進展する遺伝性疾患である。一方、わが国では成人まで診断されていない症例も少なくない。特に日本人では <i>DRC1</i> 遺伝子異常が重要であり、内臓逆位や特徴的な電子顕微鏡所見を伴わない症例が存在するため、従来の典型像のみでは見逃される可能性がある。鼻腔一酸化窒素測定、遺伝学的検査、電子顕微鏡検査などを組み合わせた診断アプローチと、近年の遺伝子解析技術の進歩について、自験例および国内外の知見を交えて解説する。さらに、早期診断と小児期から成人期への切れ目のない診療体制の重要性について考察する。
開催日時 Date and Time	令和 8 年 9 月 29 日(火) 13:30 ~ 14:30
開催方法 Online/Face to face	医局棟9F ゼミ室大
備考 Notes	セキュリティカード不所持、場所が不明な方は、以下までお問合せください。 第二内科医局：内線 7273 受付担当者:岩永直樹 Email: niwanaga@nagasaki-u.ac.jp

- ☐ 先端医療科学特論(基礎編)
- ☐ 先端新興感染症病態制御学特論
- ☒ 日本語(Japanese)
- ☒ 対面(Face to face)

- ☒ 先端医療科学特論(臨床編)
- ☐ 先端放射線医療科学特論
- ☐ 英語(English)
- ☐ オンライン(Online)